

中央労働災害防止協会
教育推進部長 亀澤 典子
大阪労働基準連合会
事務局長 谷垣 文雄
【照会先】
中央労働災害防止協会 総務部
上席専門役 間宮 直樹
(電話) 03-3452-6542
(FAX) 03-3452-9225
E-mail koho@jisha.or.jp

全国産業安全衛生大会の開催

労働災害の減少に向けた強い決意を
—わが国最大の安全衛生イベントを
大阪で開催—

中央労働災害防止協会（会長 よねくらひろまさ 米倉弘昌・(社)日本経済団体連合会会長）(注)は、本年10月30日(水)から11月1日(金)までの3日間、大阪城ホールをメイン会場に、「**第72回(平成25年度)全国産業安全衛生大会**」を開催します。

今回の大会は、功労者の表彰、企業の安全衛生管理についての研究発表や専門家による講演などを行うとともに、直近3年連続して労働災害の増加という極めて憂慮すべき事態を受け、労働災害の増加に歯止めをかけ、犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにす大会と位置づけています。

併せて、同大会の会期中「**緑十字展2013—働く人の安心づくりフェア—**」を開催します。

(注)

中央労働災害防止協会（以下 略称「中災防」）は、昭和39年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」および「最新安全衛生情報の提供」などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

1 第72回（平成25年度）全国産業安全衛生大会 （詳細は別紙1＝P. 3～11）

全国産業安全衛生大会は、昭和7年の第1回開催以来、全国の事業場の経営者、安全衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフなど安全衛生に係わる関係者約1万人が参集し、産業現場での安全と健康の確保を誓う国内最大の安全衛生イベントで、今年で72回目になります。

第1日目（10月30日）の「大阪城ホール」における総合集会では、開会式（会長式辞、厚生労働大臣、大阪府知事、大阪市長の祝辞等）、表彰式が行われます。

引き続き、厚生労働省労働基準局から労働災害減少に向けた講演を、また建築家・東京大学名誉教授の安藤忠雄氏から「夢かけて走れ」と題して特別講演をいただくこととしています。

第2、3日目（10月31日、11月1日）には、大阪国際会議場（グランキューブ）と大阪アカデミアの2会場で、8分科会に分かれ、事業場の安全衛生スタッフ等による改善事例・研究発表、有識者による専門的な講演、今日的なテーマについてのシンポジウムなど、合わせて179件の多彩な演題を準備しています。

また、第1日目の総合集会において、労働災害のない安全・健康で快適な職場づくりを願う、平成26年「年間標語」の発表を行います。

平成26年 年間標語

安全意識は命綱 しっかり締めて 目指そうゼロ災

2 りょくじゅうじてん 緑十字展2013 —働く人の安心づくりフェア—

（詳細は別紙2＝P. 12～15）

全国産業安全衛生大会と3日間併催で、インテックス大阪において、働く人の安全と健康の確保に係る機械・機器、安全衛生保護具、職場環境関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野、震災対策分野、地球温暖化対策関連など、広範な分野に関する最新の機器、設備、情報を展示いたします。

本年度46回目を迎える同展は、産業安全・労働衛生に関する国内最大の展示会で、108の企業、機関、団体が出展します。

また、会場内では展示会のほかに特別セミナーを企画し、職場の安全衛生、メンタルヘルス、震災対策などの国民的課題についても取り上げます。

第 72 回（平成 25 年度）全国産業安全衛生大会

1 大会の趣旨

労働災害の増加に歯止めをかけ、減少へ向け決意を新たにす

わが国の労働災害は長期的には減少傾向にあるものの、今なお年間約 54 万人が被災し、1,000 人を超える尊い命が失われています。

平成 24 年は、死亡災害、休業 4 日以上を必要とする死傷災害、一時に 3 人以上の死傷がともなう重大災害がいずれも前年より増加し、特に、死傷災害と重大災害の発生件数は、平成 22 年、23 年、24 年と 3 年連続増加し、「これまでの減少傾向から一気に増加に転じる」という極めて憂慮すべき事態となりました。

さらには、業務上ストレスによるメンタルヘルス不調者の増加、化学物質による健康障害の発生、職場の高齢化に伴うリスクの増大など、解決すべき課題がつぎつぎと発生しています。

折しも、本年 4 月、「第 12 次労働災害防止計画」がスタートしました。

本計画では、労働災害減少に向けて、業種や作業に対する重点施策が示されるとともに、その目標の達成には、国、関係機関、企業、業界団体、労働災害防止団体等関係者の全てが連携・協働して取り組むことの重要性が掲げられています。

そこで、全国の事業場の安全衛生関係者が参集する全国産業安全衛生大会を、「労働災害の増加に歯止めをかけ、減少へ向け決意を新たにす」と位置づけ、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意を誓い、労働災害防止の機運の一層の高まりを図ることとしています。

労働災害を未然に防ぐためには、各事業場が自主的な労働災害防止活動を有効かつ有機的に展開する必要があり、事業場の安全衛生関係者は、最新の安全衛生情報の入手や、他社の優れた活動事例・研究成果を参考にするとともに、同じ立場の方々と意見交換を行うことが必要です。

本大会では、事業場における自主的な労働災害防止活動をさらに積極的に展開するため、それらの活動事例・研究成果を吸収し、ブラッシュアップする研鑽の場として毎年 3 日間の日程で開催され、全国から多くの事業場の安全衛生関係者が参集します。

2 大会の概要

(1) 日程

平成25年10月30日(水)～11月1日(金)

(2) 会場

総合集会(10月30日(水))＝大阪城ホール

分科会(10月31日(木)、11月1日(金))＝大阪国際会議場(グランキューブ)、大阪アカデミアの2会場

(3) 初日の総合集会では、開会式、職場の安全と健康の確保・向上に功績のあった個人・事業場に対する表彰の後、厚生労働省労働基準局から労働災害の減少に向けた講演をいただくほか、建築家・東京大学名誉教授の安藤忠雄氏から「夢かけて走れ」と題して特別講演をいただきます。

(4) 2日目・3日目は、テーマ別に8の分科会(参考1) P.6に分かれ、事業場等における安全衛生に関する改善事例や研究成果等の発表142件のほか、著名人、有識者、企業トップによる講演13件(参考2) P.7、今日的なテーマについて鼎談・パネルディスカッション等5件(参考3) P.8、特別報告・事例報告等19件など、合わせて179件の多彩なプログラムを用意しています。

なお、近畿圏の府県から提出された28件の研究発表は(参考4) P.10のとおりです。

3 大阪大会の特徴

(1) 第12次労働災害防止計画に関連した講演等

本年度から開始された第12次労働災害防止計画に因んだ内容で、なおかつ腰痛予防、ハラスメント、胆管がん等の時宜に合った話題を提供する。

① 腰痛予防対策(パネルディスカッション)

改訂された腰痛予防対策指針の概要ほか、社会福祉施設と物流会社で実際に行われている腰痛予防対策を紹介。

② ハラスメント対策(パネルディスカッション)

メンタル不調の要因となるパワハラ、セクハラ対策について、建設業、製造業の事例を紹介する。

③ 化学物質管理(講演)

印刷会社で発生した胆管がんの事例を踏まえ、事業場がおこなうべき化学物質管理の手法について紹介する。

④ 厚生労働省の講演と特別報告

- ・第12次労働災害防止計画に基づいた行政の取組みについて2題の講演。
 - ・特別報告として、東京労働局安全課長による「Safe Work TOKYO 第12次東京労働局労働災害防止計画」と大阪労働局安全課長による「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』について」の2題を紹介する。
- ⑤ 第12次労働災害防止計画に関連する事例発表等
- ・リスクアセスメント関係：17題
 - ・メンタルヘルス関係：9題

(2) 地元と関係の深い講師

特別講演・安藤忠雄氏の他にも、開催地である大阪と関わりの深い著名人を招いて講演していただく。

- ① 木村政雄氏（元吉本興業、横山やすし・西川きよしのマネージャー）
リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会 記念講演
「“人を動かす”人材マネジメント・組織づくりの秘訣」
- ② 藤井純一氏（元セレッソ大阪取締役、近畿大学教授）
安全衛生教育分科会 講演
「自立経営をめざす人材育成
～Jリーグ・プロ野球球団を再生させたノウハウ～」

8の分科会と主なテーマ

- 1 リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会
リスクアセスメント、マネジメントシステムの有効性、
労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着の事例など
- 2 安全管理活動分科会（1）
安全管理、小集団活動、職場安全活動の推進事例など
- 3 安全管理活動分科会（2）
中小企業・第三次産業の安全管理、職場安全活動の推進事例
- 4 機械・設備等の安全分科会
機械・設備の安全対策（はさまれ・巻き込まれ等の防止対策）の事例など
- 5 安全衛生教育分科会
企業内における安全衛生教育、安全（危険）体感教育の事例など
- 6 労働衛生管理活動／化学物質管理分科会
職場の作業環境管理、作業管理及び健康管理に関する事例など
化学物質に関するリスクアセスメント、胆管がん発生の教訓を生かして
- 7 ゼロ災運動分科会（※1）
危険予知訓練（KYT）や指差し呼称を日々の作業の中で展開している事例
など
- 8 交通安全分科会
交通KYマップの活用、構内・構外の交通事故防止対策事例など
- 9 メンタルヘルス／健康づくり分科会
メンタルヘルス不調者の職場復帰支援など職場のメンタルヘルス対策に関
する事例など

（※1）**ゼロ災運動**（ゼロ災害全員参加運動）とは、「働く人の立場に立って人間一人ひとりを大事にし、ゼロ災害、ゼロ疾病を究極の目標に職場の危険や問題点を全員参加で解決し、安全と健康を先取りすることによって明るくいきいきとした職場風土づくりをめざす運動」です。

具体的には、職場の安全先取り活動である危険予知（KY）活動、指差し呼称、5S活動等を行うことによってヒューマンエラーによる事故を防止し、職場の安全水準を上げるための現場力の向上を図る運動として多くの職場で導入されています。

全国産業安全衛生大会(平成25年10月31日～11月1日)
講演(13件)

No	期日	分科会名	項目	演者	演題	所属	役職
1	10月30日 (水)	総合集会	特別講演	安藤 忠雄	夢かけて走れ		建築家・東京大学 名誉教授
2	10月31日 (木)	リスクアセスメント/マネジ メントシステム分科会	講演	木村 政雄	“人を動かす”人材マネジ メント・組織づくりの秘訣		フリープロデュー サー
3	10月31日 (木)	安全管理活動分科 会(第1会場)	講演	山本 健治	会社が変わる 掃除で活 きる	経営コンサルタント	経営コンサルタント
4	10月31日 (木)	安全管理活動分科 会(第2会場)	講演	奈良 篤	産業安全の現状と課題	厚生労働省労働基 準局安全衛生部安 全課	課長
5	10月31日 (木)	機械・設備等の安全 分科会	講演	水野 恒夫	機械安全の定着に向け て～機械メーカーとユー ザーに望むこと～	セーフティー・クラフト	代表・漫遊書家・イ ラストレーター
6	10月31日 (木)	労働衛生管理活動/ 化学物質管理分科 会	講演	櫻井 治彦	企業における化学物質 管理のあり方 ～胆管がん発生の教訓を 生かして～	産業医学振興財団	理事長
7	10月31日 (木)	ゼロ災運動分科会	講演	中川 政雄	笑う会社と泣く会社 こ こが違う	オフィスなかがわ	代表・元気コメン テーター
8	11月1日 (金)	安全管理活動分科 会(第1会場)	講演	樋口 晴彦	組織の失敗学 ～不祥事 を財産に 企業が生き残 る道～	警察大学校警察政 策経営研究センター	教授
9	11月1日 (金)	安全管理活動分科 会(第2会場)	講演	黒田 クロ	事故・災害をなくす心が まえ～ヒューマンエラーを 防ぐ智恵と対策～	クロデザインスタジオ	代表・漫遊書家・イ ラストレーター
10	11月1日 (金)	安全衛生教育分科 会	講演	藤井 純一	自立経営をめざす人材 育成～Jリーグ・プロ野球 球団を再生させたノウハウ ～	近畿大学経営学部	教授
11	11月1日 (金)	労働衛生管理活動/ 化学物質管理分科 会	講演	森戸 和美	今後の化学物質管理の あり方について	厚生労働省労働基 準局安全衛生部労 働衛生課	課長
12	11月1日 (金)	交通安全分科会	講演	蓮花 一己	職業ドライバーの交通 心理学 ～事故を未然に 防ぐ教育プログラムと その効果～	帝塚山大学心理学 部心理学科	教授
13	11月1日 (金)	メンタルヘルス/ 健康づくり分科会	講演	井上 幸紀	最近の心の健康問題 の特徵と職場復帰の 進め方について	大阪市立大学大 学院医学研究科神 経精神医学教室	教授

ていだん
鼎談・パネルディスカッション（5件）

(1) 10月31日(木) リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会

鼎談

労働安全衛生法40周年と自主活動のあゆみ ～今、OSHMSの時代に～

【シンポジスト】

(株) YKマネジメント代表取締役	木村 嘉勝
ミドリ安全(株) 顧問・労働衛生コンサルタント	安部 健
日鉄住金マネジメント(株) 代表取締役社長	福成 雄三
(司会) 中央労働災害防止協会マネジメント審査センター所長	白崎 彰久

(2) 10月31日(木) 安全衛生教育分科会

パネルディスカッション

海外工場における安全衛生教育の進め方 ー事例と課題ー

【パネリスト】

トヨタ自動車(株)安全健康推進部安全衛生室主幹	栗田 義次
味の素(株)環境安全部専任課長	遠藤 由和
(株)竹中工務店安全環境部部長付	久保 英信
(司会) 中央労働災害防止協会国際センター所長	奥村 秀輝

(3) 10月31日(木) 労働衛生管理活動／化学物質管理分科会

パネルディスカッション

明るい職場を目指して ～ハラスメントにどう対応するか～

【パネリスト】

(株) 熊谷組代表取締役社長	大田 弘
新日鐵住金(株) 君津製鐵所安全環境防災部上席主幹産業医	宮本 俊明
積水ハウス(株) 法務部ヒューマンリレーション室部長	武田 勝
(司会) (株) クオレ・シー・キューブ代表取締役社長	岡田 康子

(4) 10月31日(木) メンタルヘルス／健康づくり分科会

パネルディスカッション

労働者の健康状況と対策(行動変容)のポイントについて

～THPのノウハウをどう活かすか～

【パネリスト】

大阪ガス(株)人事部大阪ガスグループ 健康開発センター統括産業医	岡田 邦夫
信州大学大学院医学系研究科教授	能勢 博
あいち健康の森 健康科学総合センターセンター長	津下 一代

(助言者) 厚生労働省労働基準局労働基準局安全衛生部
労働衛生課長

泉 陽子

(司会) 中央労働災害防止協会健康快適推進部
研修支援センター所長

三觜 明

(5) 11月1日(金) 労働衛生管理活動/化学物質管理分科会

パネルディスカッション

新しい腰痛予防対策指針と対策事例(仮)

【パネリスト】

(株)日通総合研究所取締役

安藤 弘一

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門医学博士・

医師労働衛生コンサルタント

北原 照代

オリックス・リビング(株)代表取締役

森川 悦明

助言者・厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課調査官

松下 高志

司会・中央労働災害防止協会技術支援部長

角元 利彦

全国産業安全衛生大会（平成25年10月31日～11月1日）
近畿圏の府県から提出される28件の研究発表

No	期 日	分科会名	演 題	発表者名	府 県	事業場名	所 属
1	10月31日 (木)	ゼロ災運動分科会	事例を抽象化した教材を用いた気付き訓練でヒューマンエラー撲滅を目指す活動の展開	斉藤 浩司	大阪	大阪ガス(株) 泉北製造所	泉北製造所 保安安全チーム 安全推進グループ
2	10月31日 (木)	ゼロ災運動分科会	警備会社におけるゼロ災運動	竹内 千里	大阪	(株) レールセキュリティ	代表取締役社長
3	10月31日 (木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	ワークライフバランスと健康障害	中迫 勝	大阪	独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪産業保健推進センター	基幹相談員
4	10月31日 (木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	心身の健康度を改善した短時間運動の効果について～デスクワーク労働者を中心に～	梅田 陽子	大阪	トータルフィット株式会社	代表取締役
5	10月31日 (木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	特定保健指導における効果と行動変容から見る保健指導のポイント	野田 恵	大阪	大阪ガス(株)	人事部大阪ガスグループ 健康開発センター
6	11月1日 (金)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	「健康パナソニック2018」～活動提携による一次予防策の取り組み～	阪本 善邦	大阪	パナソニック健康保険組合	健康開発センター 所長
7	10月31日 (木)	安全衛生教育分科会	危険体感訓練を取り入れた安全教育	天野 浩文	大阪	近畿日本鉄道(株)	大阪輸送統括部 工機部 管理課 事務員
8	10月31日 (木)	安全衛生教育分科会	「大阪安全衛生トレーナー交流会」の取り組みについて	山口 政雄	大阪	大阪安全衛生トレーナー交流会	会長
9	10月31日 (木)	安全管理活動分科会 (第1会場)	人材サービス業としての「派遣」及び「請負」スタッフの災害防止の取り組みについて	谷口 昌克	大阪	(株) トーコー	業務部 安全衛生課 課長
10	10月31日 (木)	安全管理活動分科会 (第1会場)	OGCTSにおける保安安全活動について	森 啓充	大阪	(株) クリエイティブテクノロジーソリューション	保安安全室・室長
11	11月1日 (金)	安全管理活動分科会 (第1会場)	送電鉄塔に作られる「カラスの巣」除去作業における安全性向上	大角 龍也	大阪	関西電力(株) 大阪南電力所 我孫子電力システムセンター	架空送電係 作業長
12	11月1日 (金)	安全管理活動分科会 (第2会場)	新大阪駅改良工事における現場目線に基づく安全性向上の取り組み	秋元 洋輔	大阪	西日本旅客鉄道(株) 大阪工事事務所	新大阪建築工事所 施設管理係
13	11月1日 (金)	安全管理活動分科会 (第2会場)	非正常作業時における機械災害防止活動について	山崎 美沙	大阪	山崎製パン(株) 大阪第二工場	人事課
14	11月1日 (金)	交通安全分科会	“気づき”をテーマにした「安心運転」への取り組みについて	津崎 恵吾	大阪	大阪ガスオートサービス(株)	企画管理本部 SAFE推進部 安心運転訓練センター チーフ
15	11月1日 (金)	労働衛生管理活動/化学物質管理分科会	ポータブル分析装置XG-100による現場測定事例	久世 恭	大阪	新コスモス電機(株)	技術開発本部 第二開発部 開発第二グループ 担当課長

全国産業安全衛生大会（平成25年10月31日～11月1日）
近畿圏の府県から提出される28件の研究発表

No	期 日	分科会名	演 題	発表者名	府 県	事業場名	所 属
16	10月31日 (木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	睡眠日誌を活用した運転士の眠気防止対策	大田 三好	京都	西日本旅客鉄道(株) 福知山支社	福知山運転所 係長
17	11月1日 (金)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	健康リスクの定量化によるアセスメント手法の改善	諏訪 美紀	京都	大日本スクリーン製造 (株)	BSC 総務グループ環境安全推進部健康増進課担当係長
18	11月1日 (金)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	ネスレ日本におけるメンタルヘルスへの取り組みと今後の展望	大野 朋美	兵庫	ネスレ日本 (株)	人事総務本部 エンプロイリレーション&リソースマネジメント部
19	10月31日 (木)	リスクアセスメント/マネジメント分科会	キュービクル型断路器内における感電事故防止対策の一例	平松 智大	兵庫	西日本旅客鉄道(株) 大阪電気工事事務所	設計課電車線担当・課員
20	11月1日 (金)	リスクアセスメント/マネジメント分科会	ガスタービンエンジン運転職場のリスクアセスメント実施による安全確保	向井 秀忠	兵庫	川崎重工業 (株) 明石工場	ガスタービンビジネスセンター 生産総括部 製造部 第三工作課 班長
21	11月1日 (金)	安全衛生教育分科会	安全専任育成制度（安全に強い監督者の育成）	濱 洋史	兵庫	(株) 神戸製鋼所 高砂製作所	安全衛生室 スタッフ
22	10月31日 (木)	安全管理活動分科会 (第1会場)	日常安全活動のスパイラルアップ	廣川 勝宣	兵庫	(株) カネカ 高砂工業所	特殊樹脂製造部 専任安全技術者
23	11月1日 (金)	安全管理活動分科会 (第1会場)	チタン鑄塊の旋盤加工で発生する切粉の形状改善による安全性の向上	新谷 勇人	兵庫	(株) 神戸製鋼所 高砂製作所	チタン工場 製造室・一般
24	11月1日 (金)	安全管理活動分科会 (第2会場)	「安全処置確認シート」の徹底運用による工事安全処置体制の確立	野田 政之	兵庫	(株) 神戸製鋼所 加古川製鉄所	エネルギー部 動力室 係長
25	10月31日 (木)	機械・設備等の安全分科会	誤操作防止機能付『問い掛けクレーン』の開発	本房 正行	兵庫	三菱重工業 (株) 神戸造船所	精密工作課
26	10月31日 (木)	機械・設備等の安全分科会	リスクアセスメント活用によるジェットスキー用エンジン製造職場の安全性の向上	垂見 憲昭	兵庫	川崎重工業 (株) 明石工場	MC&Eカンパニー SC本部 エンジン製造部 班長
27	10月31日 (木)	機械・設備等の安全分科会	施工計画段階におけるリスク低減	亀井 省吾	滋賀	東海旅客鉄道 (株) 栗東保線所	施設技術係
28	10月31日 (木)	機械・設備等の安全分科会	ベアストレイの載せ換え作業におけるリスクアセスメント活動	北川 剛	滋賀	DOWAサーモエンジニアリング (株) 滋賀工場	生産課

りよくじゅうじてん

緑十字展 2013 —働く人の安心づくりフェア—

1 緑十字展 2013 の概要

緑十字展は、昭和43年（1968年）10月、東京都港区の産業安全会館において開催した安全衛生保護具の展示会がその起源で、本年度で46回目を迎えます。

本年の緑十字展には108の企業や機関・団体が出展します。

- ① 安全衛生分野の保護具・機器、機械の本質安全化に係る機器
- ② 職場環境関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野の機械・器具
- ③ 防災・震災対策分野、省エネ対策関連など広範な分野の機器、設備など、各社の最新かつ多種の商品・情報を展示しており、労働安全衛生に関する国内最大の展示会です。

会場内では、出展者（企業・機関・団体等）による一般展示のほか、特別展示や特別セミナーなどを企画し、労働安全衛生を中心に、震災対策、交通安全対策のような今日の国民的課題も取り上げます。

また、特別企画として、安全衛生保護具の正しい装着などの体験を通して安全衛生保護具の有効性を再認識していただける「安全衛生保護具体験道場」を企画しています。

開催期間中、全国産業安全衛生大会の参加者をはじめ、企業関係者など約1万5千人の来場を予定しています。

入場は無料です。

2 特別企画・特別セミナー等について

1 概要

出展者による一般展示のほかに、来場者が実際に体験することができる特別企画コーナーを設けます。

また、特別セミナーとして第1日目、第2日目に安全衛生セミナー、震災対策セミナー等を開催するとともに、グルメ・物産コーナーを設けます。

2 内容

1 特別企画

(1) 安全衛生保護具体験道場 （協力：日本労働災害防止推進会）

保護具メーカーのアドバイザーによるきめ細かい解説のもと、マスクなど

10種類の保護具等を実際に装着したり、各種保護具の試験機器等による実験を行ったりしながら、正しい知識や装着方法を学ぶことができます。

また本年は、タイアップ企画として「安全衛生保護具体験道場セミナー」をセミナーコーナーにおいて行います。

なお、同体験道場で行うスタンプラリーにご参加いただいた方には記念品を差し上げますので、ぜひご参加ください。

【開催スケジュール】

① 安全衛生保護具体験道場

日時：10月30日（水）10：00～17：00

10月31日（木） 9：00～17：00

② 安全衛生保護具体験道場セミナー

日時：10月30日（水）12：00～12：30

14：30～15：30

10月31日（木） 9：00～ 9：30

14：15～15：15

(2) 安全見える化パネル展 （協力：大阪労働局）

大阪労働局が推進する「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」で収集した「安全見える化」の好事例を多数紹介します。

来場者の投票により優秀事例を選び、後日大阪労働局からプレス発表が行われることになっています。

(3) 地元大阪の特別展示「大阪の新しいランドマーク あべのハルカス」 （協力：近畿日本鉄道㈱）

来春オープン予定の日本一の超高層ビル「あべのハルカス」を取り上げ、パネル、模型、映像等を使ってビルの概要と魅力を紹介します。

(4) 震災対策に係る特別展示「南海トラフ巨大地震に備える」 （協力：「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」(神戸市)）

内閣府公表の南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた、これからの防災・減災を考える展示を行います。

(5) 安全体感教育&機械安全コーナー

労災事故や交通事故防止のため、災害を疑似体験できる体感型教育装置やドライビングシミュレーターなどの出展者によるコーナーを設け、これらの装置等を実際に体験することにより、安全衛生意識の向上、正しい運転技術を習得していただきます。

また、産業現場ではこうした体験型の教育プログラムはもちろん、機械・

設備等ハード面での対策やシステム安全に係る人材育成等も不可欠であるため、機械安全等に係る出展者のコーナーを併設し、実際の安全装置等を展示しながらその重要性を訴えます。

2 特別セミナー

緑十字展では、10月30日（水）、31日（木）の2日間にわたり、安全衛生に関する様々な今日的課題や広く国民一般の安全・安心を脅かす社会的な問題を取り上げてセミナーを開催しています。

本年は、安全衛生関連として、①安全衛生保護具における最新技術、②機械の本質安全に関する最新動向、③職場のメンタルヘルス対策、④交通事故防止に向けた企業の対応等を取り上げます。

また、防災関連として、⑤首都直下地震、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、企業・自治体では震災にいかに対応すべきかについて解説します。

内容の詳細・タイムスケジュールは「参考5」（P.15）をご参照ください。

3 グルメ・物産コーナー

大阪のご当地グルメが味わえるグルメコーナー及び名産品の販売を行うコーナーを設置します。

4 開会式アトラクション

大阪府警察音楽隊&カラーガード隊による演奏とデモンストレーションを行います。

5 シャトルバス

第2日目・第3日目に、緑十字展会場と全国産業安全衛生大会の分科会会場（大阪国際会議場、大阪アカデミア）とを結ぶシャトルバスを運行します。

6 その他

（一財）労災サポートセンター主催による「労災重度被災者作品展」を同会場内にて実施します。

緑十字展・特別セミナー（平成 25 年 10 月 30 日～31 日）

（1）安全衛生保護具セミナー（10月30日（水）10：00～11：30）

「新たな脅威から身を守るための保護具選びとは？」

十文字学園女子大学大学院 人間生活学研究科 教授 田中 茂

（2）メンタルヘルスセミナー（10月30日（水）13：00～14：00）

「職場のメンタルヘルス対策のいま」

中央労働災害防止協会 健康快適推進部 部長 阿部 研二

（3）地震対策セミナー（10月31日（木）10：00～11：30）

「これからの防災・減災対策」

関西大学社会安全研究センター長・教授 河田 恵昭

（4）交通労働災害防止セミナー（10月31日（木）13：00～14：00）

「管理者のためのリスク対応型安全習慣の指導・管理法」

東京海上日動リスクコンサルティング（株）自動車リスク事業部
主席研究員 北村 憲康

（5）機械の本質安全セミナー（10月31日（木）15：30～16：30）

「機械の本質安全化と実現のための社内組織」

日本認証（株）SA事業推進課長 栃尾 昌洋

※ 上記のいずれのセミナーも、会場は「インテックス大阪 5号館」で行われます。